

私のちいさなよっしゃ！

1. 言葉でなくても、いっしょに笑顔になる、というコミュニケーションもあるんだなあ賞	
投稿者	K 様
プロフィール	みのり館 ケアヘルパー 2019年 入職
内容	<p>極度の難聴のため、誰とも話さず1日を過ごされるご利用者様がおられる。声かけしても反応がすくなく、ご様子を見てると寂しいのかなと感じることが多い。</p> <p>コミュニケーションが取りたくて、ノートを活用すると、笑顔と言葉が返った。食事後など時間があるときは、おでこをつけてスキンシップをはかると、とてもかわいい表情の笑顔で返してください。</p> <p>いくつになっても、人と関わりたい気持ちはあると気付きました。</p> <p>将来の自分の姿を重ねて、ご利用者に寄り添い、お気持ちを考える、日々勉強させていただいています。</p>
評	<p>話しかけても、反応の返りにくいご利用者が、他者とのふれあいや会話を望まれていないわけではなく、難聴等のために諦めておられたり、寂しい思いをされているのではないかと察知し、関わりをされていることがすばらしい。コミュニケーションをはかるためにはどうすればいいのか、その方にあった方法を考えられたこと、また言葉だけでなくスキンシップをはかるなど、寄り添いながら日々の生活に少しでも楽しみや、笑顔になる瞬間をもっていただけるよう努められている。一緒に笑顔になれるそんな瞬間をすごせることが、私たちの励みであり、癒しにもなる瞬間ですね。</p>
2. ワークライフバランスとかいうけれど、仕事も家庭もあって仲間も家族もいて、それら全部で私ができているのだからなあ賞	
投稿者	S 様
プロフィール	わかば館 ケアマネジャー 2007年 入職
内容	<p>身近な人を亡くしました。仕事から、ご利用者の死に関わることは経験しており、不十分ながらも最期まで対応させていただいたという達成感で、前に進んできました。しかし、近い者の死は同じではなく、悲しみは深く、ボディブローのように後から効いてくるような痛みがありました。最期まで頑張った本人、最期まで見送ることができた自分に小さなよっしゃを感じています。</p> <p>仕事しながらの介護だったので不十分だったかもしれないけれど、仕事があったから、仕事に没頭する時間、何気ない会話や笑い、業務を代わってもらったり、休みの相談に応じてもらったりと仲間達が助けてくれて、沈んで行きそうになる私を救ってくれたと感謝し、仲間達に大きなよっしゃを送りたいです。</p> <p>仕事を再開し、改めて利用者様の笑顔に強さや尊敬の念を今まで以上に感じました。戦争を経験してこれた年代の方々、幾人もの身内の方を見送ってこれた方々でもあり、それでも笑っておられる。そんなご利用者様に尊敬の念をもって、寄り添って行きたい、これが私の今後の課題だと思います。</p>
評	<p>身近な方を亡くされる悲しみは、例えようのないものだと思います。</p> <p>大変な状況のなか、仕事が気持ちの支えになったとあるように、笑顔を絶やさず仕事をされている様子に、両立させるという強い気持ちを感じ、なかなかできることではないと周囲の仲間たちは敬服していたようです。</p> <p>直接的ではなくてもお互いに支えられ感銘をうけて、チームの志気が上がるという良い関係性が感じられます。</p> <p>これまでも最期に寄り添う1人として、ご利用者を見送ってこれたと思いますが、見送りをされたご家族様のお気持ちに寄り添うこと、専門職として冷静に進捗をみきわめることなど、今回の経験により見え方が違ってくるのではと、取り組み方に反映させたいと思っておられるそのお気持ちにも、仕事に対する前向きな姿勢が感じられました。</p>

あの人のちいさなよっしゃ！

1. ご利用者にも職員にも、ワクワクやホッコリで笑顔と元気をくれちゃうんだなあ賞	
投稿者	M 様
プロフィール	みのり館 CW 2018年入職
あの人☆	N様 みのり館 CW 2018年入職
内容	<p>食事レク企画で残った材料や調味料、みんなでプランターで育てた作物を余すことなく、上手に活かして美味しい物をつくってくださいます。食欲や水分を取りたくないご利用者もパクパク食べてくださるなど、うれしいことばかりです。</p> <p>例えば、ロールサンドの企画では、残ったパンの耳が、さくさくのシュガーラスクに、お好み焼きの粉は、ミニチヂミに、毎食ユニットで炊飯している軟飯は、おはぎに、卵と牛乳があればバニラアイスに、プランターで育てたいちごはフルーツカンテンに。</p> <p>一度の企画で、二度、三度美味しいご利用者の笑顔が見られ、味見させてもらえて(笑)、スタッフも「ほっ」と一息付いて、その後の仕事にもパワーが出ます。今後も楽しみにしています。</p>

評	残った食材や、みんなで育てた作物を無駄にせず、美味しいもの、食べやすいものに変身させるため、何ができるかいつも考えてくださっている感じが感じられます。日々のスケジュールや直接的なケアに追われるなか、考えたり、調理したりは大変だと思いますが、時間までも無駄にせず、ご利用者や、職員も笑顔にしてくれるそんな心遣いによっしゃ！をおくりたいです。 食べて美味しい満足感だけでなく、気持ちをほっこりさせてくれる、それがチーム作りやユニットの雰囲気作りにつながっていると感じます。
---	---

2. 見えないところで汗をかきひと、その人に頑張ってもらうためにもっと見えないところで汗をかき人、そしてそれらをそっと見守る人たち賞

投稿者	U様 K様
プロフィール	U様:本館特養 CW副主任 2007入職 K様:みのり館 CW 2005年入職
あの人☆	S様 本館・みのり館 クリーンスタッフ 2017年入職
内容	U様 失禁でよごれたりネン類を、介護職員が忙し時には、声かけして交換して下さったり、ご利用者の細かな事まで気づいておられるので気配りが出来る人だと思いました。 K様 みのり館のクリーンスタッフが長期に休まれていることで、念入りなトイレ掃除ができずにいました。ユニット職員も気付いた時には、見える部分を掃除するようにはしていましたが、隔々まではできませんでした。本館からS様が来てくれ、掃除ができていなかった期間分の汚れもあり大変だったと思いますが、きれいにしてくれました。その後も毎日一生懸命汗だくになりながら、介護職ができない所まできれいにしてくださいませ。おかげで毎日気持ちよく過ごすことができ、クリーンスタッフ様に感謝します。

評	前回のよっしゃ！大賞にも選ばれていたように、ご利用者への気配りができるようになったS様の成長と、職種を超えた周囲のスタッフが努力をみとめ、支えてくれる環境とで、これからは宗園様が輝いてくださることを願っています。 目に見えないウイルスによる感染症が流行するなか、消毒、清潔確保は必須事項です。本館、みのり館を掛け持ちながら、毎日念入りに掃除をしていただけることで、安心してご利用者に生活していただける環境があることは、そこでケアする職員の安心にもつながります。 みのり館の業務も担っていただくことになりましたが、クリーンスタッフを増員したわけではありません。本館を守っていただく、他のクリーンスタッフの皆様にも負担をかけることになりましたが、協力的に業務を分担していただいたことに感謝いたします。
---	--

3. ご利用者のことを、今だけじゃなくその先やもっと先まで考えて、それをモチベーションにできちゃうんだね賞

投稿者	F様
プロフィール	わかば館 デイサービスCW 2003年入職
あの人☆	T様 デイサービスCW 2012年入職
内容	あるものに農園を主体となって実行してくれている。日々の業務・利用者に関わるケアをしながら、畑のお世話にも気を配る事は大変だと思うが、ご利用者に考えていただけるよう巻き込みながら実施され、その作物からコミュニケーションのきっかけになっている。畑以外にも、編み物など、ご利用者に目をむけ、継続的にアプローチをしていて素晴らしいと思う。彼女の醸し出す雰囲気がそうさせるのか、ほわっと暖かみがあり、なかなかマネはできませんが、私にとっては良い刺激になっています。
評	ご利用者に楽しい時間を過ごしてもらいたいと企画を考えますが、継続して実施することは負担を感じることもあると思います。ご利用者を巻き込むことも、準備や実施にさらに時間や配慮を要することから、つつい職員が先行してしまいがちになりますが、持ち味(笑)の雰囲気で、無理なく、ほんわかした心地よい時間・空間づくりができています。 先輩がマネできない、良い刺激を受けていると感じて、その取り組みに時間がさけるよう他のスケジュールやケアをカバーするという配慮もあって継続できているのではと感じ、お互いの良いところに目をむけて尊重しあう、これこそがチームだと思いました。

総評	今回から「小さなよっしゃプロジェクト」は、自分が感じた「よっしゃ」だけでなく、他の職員の行動をみて素敵だと感じた「よっしゃ」も出してもらうことにしました。 もとより福祉の仕事・介護の仕事は、自分ひとりではできません。さらにいえば、誰もが人と関わり合い、支え合いながら日々を送っている。福祉の仕事は、自分たち自身も繋がりがあいながら、人と人、人と社会資源を繋いでいくことです。そのことをあらためて思い起こさせてくれる、今回の「よっしゃ」でした。
----	--